

市民の生活等に関する調査
(ひきこもりに関する実態調査)
報 告 書

<参考資料>

令和 8 年 8 月

札 幌 市

目 次

集計表・調査票(調査報告書 参考資料)

(1) 集計表(無作為抽出アンケート)	1
(2) 集計表(当事者及び家族向けアンケート)	45
(3) 集計表(関係機関向けアンケート)	83
(4) 集計表(8050 問題に関するアンケート)	99
(5) 調査票(無作為抽出アンケート)	133
(6) 調査票(当事者及び家族向けアンケート)	145
(7) 調査票(関係機関向けアンケート)	157
(8) 調査票(8050 問題に関するアンケート)	163

単純集計表 関係機関向けアンケート調査

Q1 貴機関について、該当するものを選択してください。(○はひとつだけ)

	実数	割合
サンプル数	87	
地域包括支援センター	26	29.9
障がい者相談支援事業所(委託相談)	16	18.4
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	34	39.1
区社会福祉協議会	11	12.6
無回答	0	0.0

Q2 現在、貴機関の担当する区域内に「ひきこもり状態にある方」がいますか。(○はひとつだけ)

	実数	割合
サンプル数	87	
いる	64	73.6
いない	15	17.2
わからない	8	9.2
無回答	0	0.0

Q3 貴機関は、この6か月間に「ひきこもり状態にある方」当事者の相談を受けたり、支援を行ったりしたことがありますか。概算で構いませんのでお答えください(1か月平均)。(○はひとつだけ)

	実数	割合
サンプル数	87	
したことはない	36	41.4
1～5人／月程度ある	44	50.6
6～10人／月程度ある	5	5.7
11～20人／月程度ある	2	2.3
21～30人／月程度ある	0	0.0
31～50人／月程度ある	0	0.0
51～80人／月程度ある	0	0.0
80人／月より多くある	0	0.0
わからない	0	0.0
無回答	0	0.0

Q4 貴機関は、この6か月間に「ひきこもり状態にある方」のご家族の相談を受けたり、支援を行ったりしたことがありますか。概算で構いませんのでお答えください(1か月平均)。(○はひとつだけ)

	実数	割合
サンプル数	87	
したことはない	33	37.9
1～5人／月程度ある	48	55.2
6～10人／月程度ある	3	3.4
11～20人／月程度ある	3	3.4
21～30人／月程度ある	0	0.0
31～50人／月程度ある	0	0.0
51～80人／月程度ある	0	0.0
80人／月より多くある	0	0.0
わからない	0	0.0
無回答	0	0.0

Q5 担当する地区にひきこもり状態にある方がいることを新たに把握することは、どの程度ありますか。(○はひとつだけ)

	実数	割合
サンプル数	87	
ほとんどない	20	23.0
年1～2件	20	23.0
年3～4件	18	20.7
年5～10件	16	18.4
月1件程度	3	3.4
月2～4件	4	4.6
その他	0	0.0
わからない	5	5.7
無回答	1	1.1

Q6 貴機関の令和5年度と令和6年度を比較して、ひきこもり状態にある方がいる世帯が増えていると思いますか。(○はひとつだけ)

	実数	割合
サンプル数	87	
増えていると思う	23	26.4
変わらない(横ばい)と思う	23	26.4
減っていると思う	0	0.0
わからない	41	47.1
無回答	0	0.0

Q7 担当する地区にひきこもり状態にある方がいることを、どのような方法で知りますか。該当するものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

	実数	割合
サンプル数	87	
支援対象者への対応時	47	54.0
当事者や家族からの相談	62	71.3
近隣住民からの情報提供(相談)	20	23.0
民生委員・児童委員からの情報提供	22	25.3
区役所・保健センターからの情報提供	24	27.6
教育機関(学校等)からの情報提供	10	11.5
介護サービス事業所からの情報提供	22	25.3
医療機関からの情報提供	18	20.7
その他	10	11.5
把握してない	8	9.2
わからない	1	1.1
無回答	0	0.0

Q8 担当する地区にひきこもり状態にある方がいることを知ったとき、どのような対応をすることが多いですか。多いと思うものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

	実数	割合
サンプル数	87	
その方との関係づくりのための訪問を行う	36	41.4
定期的な見守り・声掛けを行う	19	21.8
家族からの相談を聞く	56	64.4
当事者・家族に対して相談窓口や支援機関についての情報提供を行う	48	55.2
相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う	28	32.2
当事者・家族が相談窓口・支援機関に行く際に同行する	10	11.5
関係機関と連携しながら、直接的な支援を行う	10	11.5
当事者が自機関の支援対象者でなければ、特別な対応は行わない	6	6.9
当事者・家族に相談の意思がなければ、特別の対応は行わない	12	13.8
その他	3	3.4
無回答	0	0.0

Q9 ひきこもりに係る相談・支援において、連携している(連携したことがある)関係機関をすべて選んで○をつけてください。(○はいくつでも)

	実数	割合
サンプル数	87	
札幌市ひきこもり地域支援センター	26	29.9
札幌市若者支援総合センター(さっぽろ若者サポートステーション)	21	24.1
札幌市自閉症・発達障がい支援センター(おがる)	16	18.4
ひきこもりに関する集団型支援拠点「よりどころ」	4	4.6
札幌市精神保健福祉センター(札幌こころのセンター)	16	18.4
札幌市子どもアシストセンター	1	1.1
札幌市教育センター・教育相談室	7	8.0
児童相談所などの児童福祉機関	14	16.1
区役所	53	60.9
保健所・保健センター	16	18.4
地域包括支援センター	16	18.4
障がい者相談支援事業所(委託相談)	33	37.9
指定特定障がい者相談支援事業所(上記12の委託相談以外)	16	18.4
札幌市社会福祉協議会	5	5.7
民生委員・児童委員	20	23.0
病院・診療所	34	39.1
職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェなど就労機関	3	3.4
民間団体(支援NPOや「フリースクール」など)	10	11.5
上記以外の心理相談・カウンセリングなどをする民間の機関	2	2.3
その他の施設・機関	14	16.1
無回答	4	4.6

Q10 貴機関がひきこもりに係る相談・支援を行う場合、特に課題と感じていることについて、お答えください。(○はいくつでも)

	実数	割合
サンプル数	87	
ひきこもりについての知識やノウハウが足りない	43	49.4
家族とつながっているが、ひきこもり状態の本人につなげることができない	47	54.0
家族・本人とも、ひきこもり状態であることに困り感がない	47	54.0
相談が継続せずに途切れてしまう	35	40.2
本人と家族の認識にギャップがあり、家族関係の調整が難しい	40	46.0
支援者向けの研修機会が不足している	12	13.8
どこの機関と連携すればよいか、わからない	20	23.0
行政機関との連携がない	13	14.9
当事者会・家族会との連携がない	12	13.8
ひきこもりに対する地域や社会の理解が不足している	18	20.7
ひきこもりに関わる社会資源(就労先・協力者など)がない	32	36.8
その他	5	5.7
無回答	1	1.1

Q11 貴機関がひきこもりに係る相談・支援に対応するうえで、職員・スタッフが特に理解を深めたほうが良いと思うことを教えてください。(○はいくつでも)

	実数	割合
サンプル数	87	
ひきこもりの現状や背景	43	49.4
ひきこもり支援の制度	58	66.7
ひきこもり支援の具体的なノウハウ	72	82.8
当事者・家族心理の理解	50	57.5
長期・高齢ケースへの対応方法	38	43.7
支援における関係機関との連携の深め方	48	55.2
利用可能な社会資源(福祉サービス等)	53	60.9
ひきこもり支援機関の取組や事例	43	49.4
支援者自身のメンタルヘルスとセルフケア	25	28.7
その他	1	1.1
無回答	1	1.1

Q12 ひきこもりに係る相談・支援に対応する際に、どのような取組があると良いと思いますか。3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

	実数	割合
サンプル数	87	
身近な地域における相談体制の充実	42	48.3
地域における連携ネットワークづくり	53	60.9
効果的な普及啓発の充実	9	10.3
支援機関が掲載されたマップ等の作成	21	24.1
相談・支援機関向け研修会・事例検討会	25	28.7
居場所の運営	30	34.5
家族向けのひきこもりに関するセミナー、家族教室等	23	26.4
ひきこもりの家族会と連携した取組の充実	10	11.5
当事者・家族向け講演会	6	6.9
中間的就労等を含めた就労支援	9	10.3
当事者団体・家族会との連携、当事者の声を聴く機会づくり	7	8.0
その他	6	6.9
無回答	0	0.0

Q13 あなたは、ひきこもりに係る相談・支援を行う関係機関や、ひきこもり支援に関する情報を何で知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

	実数	割合
サンプル数	87	
札幌市公式ホームページ	28	32.2
広報さっぽろ	12	13.8
チラシ・パンフレット	32	36.8
区役所などの公共施設や窓口	20	23.0
札幌市以外の行政機関(国・北海道など)のホームページなど	12	13.8
ひきこもり支援を行う関係機関のホームページ・パンフレットなど	48	55.2
ひきこもり当事者会や家族会	12	13.8
医師や医療機関	11	12.6
福祉・教育などの関係機関や活動団体	27	31.0
テレビ・ラジオ	6	6.9
新聞・雑誌	4	4.6
SNS	7	8.0
その他	5	5.7
覚えていない	4	4.6
無回答	0	0.0

Q14 ひきこもり支援担当者だけではなく、ひきこもり状態にある人や家族に関わる全ての人に共通認識を持っていただきたい内容や、対象者に寄り添った支援を実現するためのポイントなどを記載した、「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤」が、令和7年1月に厚生労働省から発行されたことをご存じですか。(〇はひとつだけ)

	実数	割合
サンプル数	87	
知っており、読んだことがある	12	13.8
知っているが、読んだことはない	31	35.6
知らない	44	50.6
無回答	0	0.0

クロス集計表 関係機関向けアンケート調査

Q1 貴機関について

	全体
対象者全体	87
≪機関別≫	
地域包括支援センター	26
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	16
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	34
市区社会福祉協議会	11

Q2 担当する区域内に「ひきこもり状態にある方」がいるか

	全体	いる	いない	わからない	無回答
対象者全体	87	73.6	17.2	9.2	0.0
≪機関別≫					
地域包括支援センター	26	84.6	7.7	7.7	0.0
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	16	93.8	6.3	0.0	0.0
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	34	58.8	35.3	5.9	0.0
市区社会福祉協議会	11	63.6	0.0	36.4	0.0

Q3 6か月間に「ひきこもり状態にある方」当事者の相談を受けたり、支援を行ったりしたことがあるか(1か月平均)

	全体	したことはない	1～5人／月程度ある	6～10人／月程度ある	11～20人／月程度ある	21～30人／月程度ある	31～50人／月程度ある	51～80人／月程度ある	80人／月より多くある
対象者全体	87	41.4	50.6	5.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
≪機関別≫									
地域包括支援センター	26	38.5	57.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所(委託相談)	16	6.3	68.8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	34	44.1	50.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市区社会福祉協議会	11	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	わからない	無回答
対象者全体	0.0	0.0
≪機関別≫		
地域包括支援センター	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所(委託相談)	0.0	0.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	0.0	0.0
市区社会福祉協議会	0.0	0.0

Q4 6か月間に「ひきこもり状態にある方」のご家族の相談を受けたり、支援を行ったりしたことがあるか(1か月平均)

	全体	したことはない	1～5人／月程度ある	6～10人／月程度ある	11～20人／月程度ある	21～30人／月程度ある	31～50人／月程度ある	51～80人／月程度ある	80人／月より多くある
対象者全体	87	37.9	55.2	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
≪機関別≫									
地域包括支援センター	26	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所(委託相談)	16	12.5	68.8	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	34	44.1	52.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市区社会福祉協議会	11	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	わからない	無回答
対象者全体	0.0	0.0
≪機関別≫		
地域包括支援センター	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所(委託相談)	0.0	0.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	0.0	0.0
市区社会福祉協議会	0.0	0.0

Q5 担当する地区にひきこもり状態にある方がいることを新たに把握することは、どの程度あるか

	全体	ほとんど ない	年1～2 件	年3～4 件	年5～10 件	月1件程 度	月2～4 件	その他	わからな い
対象者全体	87	23.0	23.0	20.7	18.4	3.4	4.6	0.0	5.7
《機関別》									
地域包括支援センター	26	19.2	30.8	19.2	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	16	0.0	12.5	31.3	31.3	6.3	12.5	0.0	6.3
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	34	32.4	20.6	23.5	8.8	0.0	5.9	0.0	5.9
市区社会福祉協議会	11	36.4	27.3	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0

	無回答
対象者全体	1.1
《機関別》	
地域包括支援センター	0.0
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	0.0
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	2.9
市区社会福祉協議会	0.0

Q6 令和5年度と令和6年度を比較して、ひきこもり状態にある方がいる世帯が増えていると思うか

	全体	増えてい ると思う	変わらな い(横ば い)と思う	減ってい ると思う	わからな い	無回答
対象者全体	87	26.4	26.4	0.0	47.1	0.0
《機関別》						
地域包括支援センター	26	26.9	26.9	0.0	46.2	0.0
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	16	37.5	43.8	0.0	18.8	0.0
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	34	26.5	26.5	0.0	47.1	0.0
市区社会福祉協議会	11	9.1	0.0	0.0	90.9	0.0

Q7 ひきこもり状態にある方がいることを、どのような方法で知るか

【複数回答】

	全体	支援対象者への対応時	当事者や家族からの相談	近隣住民からの情報提供(相談)	民生委員・児童委員からの情報提供	区役所・保健センターからの情報提供	教育機関(学校等)からの情報提供	介護サービス事業所からの情報提供	医療機関からの情報提供
対象者全体	87	54.0	71.3	23.0	25.3	27.6	11.5	25.3	20.7
≪機関別≫									
地域包括支援センター	26	88.5	69.2	42.3	57.7	23.1	0.0	26.9	30.8
障がい者相談支援事業所(委託相談)	16	31.3	100.0	18.8	12.5	56.3	31.3	37.5	37.5
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	34	44.1	67.6	2.9	2.9	14.7	11.8	17.6	11.8
市区社会福祉協議会	11	36.4	45.5	45.5	36.4	36.4	9.1	27.3	0.0

	その他	把握していない	わからない	無回答
対象者全体	11.5	9.2	1.1	0.0
≪機関別≫				
地域包括支援センター	0.0	7.7	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所(委託相談)	18.8	0.0	0.0	0.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	17.6	8.8	2.9	0.0
市区社会福祉協議会	9.1	27.3	0.0	0.0

Q8 ひきこもり状態にある方がいることを知ったとき、どのような対応をすることが多いか

【複数回答】

	全体	その方との関係づくりのための訪問を行う	定期的な見守り・声掛けを行う	家族からの相談を聞く	当事者・家族に対して相談窓口や支援機関についての情報提供を行う	相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う	当事者・家族が相談窓口・支援機関に行く際に同行する	関係機関と連携しながら、直接的な支援を行う	当事者が自機関の支援対象者でなければ、特別な対応は行わない
対象者全体	87	41.4	21.8	64.4	55.2	32.2	11.5	11.5	6.9
《機関別》									
地域包括支援センター	26	15.4	23.1	73.1	92.3	46.2	0.0	3.8	0.0
障がい者相談支援事業所（委託相談）	16	75.0	31.3	75.0	37.5	12.5	37.5	18.8	0.0
指定特定相談支援事業所（委託を除く）	34	55.9	20.6	61.8	35.3	20.6	11.8	14.7	17.6
市区社会福祉協議会	11	9.1	9.1	36.4	54.5	63.6	0.0	9.1	0.0

	当事者・家族に相談の意思がなければ、特別の対応は行わない	その他	無回答
対象者全体	13.8	3.4	0.0
《機関別》			
地域包括支援センター	7.7	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所（委託相談）	0.0	6.3	0.0
指定特定相談支援事業所（委託を除く）	26.5	2.9	0.0
市区社会福祉協議会	9.1	9.1	0.0

Q9 ひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関

【複数回答】

	全体	札幌市ひきこもり地域支援センター	札幌市若者支援総合センター(さっぽろ若者サポートステーション)	札幌市自閉症・発達障がい支援センター(おかる)	ひきこもりに関する集団型支援拠点「よりどころ」	札幌市精神保健福祉センター(札幌こころのセンター)	札幌市子どもアリストセンター	札幌市教育センター・教育相談室	児童相談所などの児童福祉機関
対象者全体	87	29.9	24.1	18.4	4.6	18.4	1.1	8.0	16.1
≪機関別≫									
地域包括支援センター	26	38.5	7.7	23.1	7.7	34.6	0.0	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所(委託相談)	16	31.3	68.8	37.5	12.5	25.0	0.0	31.3	56.3
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	34	20.6	17.6	8.8	0.0	8.8	2.9	5.9	14.7
市区社会福祉協議会	11	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	区役所	保健所・保健センター	地域包括支援センター	障がい者相談支援事業所(委託相談)	指定特定障がい者相談支援事業所(上記12の委託相談以外)	札幌市社会福祉協議会	民生委員・児童委員	病院・診療所	職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェなど就労機関
対象者全体	60.9	18.4	18.4	37.9	18.4	5.7	23.0	39.1	3.4
≪機関別≫									
地域包括支援センター	80.8	3.8	7.7	65.4	26.9	7.7	46.2	38.5	7.7
障がい者相談支援事業所(委託相談)	87.5	50.0	43.8	12.5	37.5	12.5	25.0	87.5	6.3
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	35.3	11.8	5.9	29.4	5.9	0.0	0.0	29.4	0.0
市区社会福祉協議会	54.5	27.3	45.5	36.4	9.1	9.1	36.4	0.0	0.0

	民間団体(支援NPOや「フリースクール」など)	上記以外の心理相談・カウンセリングなどをする民間の機関	その他の施設・機関	無回答
対象者全体	11.5	2.3	16.1	4.6
≪機関別≫				
地域包括支援センター	0.0	3.8	7.7	3.8
障がい者相談支援事業所(委託相談)	37.5	6.3	18.8	0.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	8.8	0.0	23.5	5.9
市区社会福祉協議会	9.1	0.0	9.1	9.1

Q10 ひきこもりに係る相談・支援を行う場合の課題

【複数回答】

	全体	ひきこもりに についての知識や ノウハウが 足りない	家族とつな がっている が、ひきこも り状態の本人 につなぐ ことができ ない	家族・本人 とも、ひき こもり状態 であること に困り感 がない	相談が継 続せずに 途切れて しまう	本人と家 族の認識 にギャップ があり、家 族関係の 調整が難 しい	支援者向 けの研修 機会が不 足してい る	どこの機 関と連携 すればよ いか、わ からない	行政機関 との連携 がない
対象者全体	87	49.4	54.0	54.0	40.2	46.0	13.8	23.0	14.9
≪機関別≫									
地域包括支援センター	26	65.4	76.9	65.4	38.5	61.5	23.1	15.4	15.4
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	16	25.0	81.3	50.0	81.3	50.0	12.5	25.0	12.5
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	34	44.1	29.4	58.8	32.4	38.2	8.8	29.4	17.6
市区社会福祉協議会	11	63.6	36.4	18.2	9.1	27.3	9.1	18.2	9.1

	当事者 会・家族 会との連 携がない	ひきこも りに対する 地域や社 会の理解 が不足し ている	ひきこも りに関わる 社会資源 (就労先・ 協力者な ど)がない	その他	無回答
対象者全体	13.8	20.7	36.8	5.7	1.1
≪機関別≫					
地域包括支援センター	15.4	26.9	42.3	7.7	0.0
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	25.0	12.5	68.8	6.3	0.0
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	8.8	20.6	23.5	2.9	2.9
市区社会福祉協議会	9.1	18.2	18.2	9.1	0.0

Q11 ひきこもりに係る相談・支援に対応するうえで、職員・スタッフが特に理解を深めたほうが良いと思うこと 【複数回答】

	全体	ひきこもりの現状や背景	ひきこもり支援の制度	ひきこもり支援の具体的なノウハウ	当事者・家族心理の理解	長期・高齢ケースへの対応方法	支援における関係機関との連携の深め方	利用可能な社会資源(福祉サービス等)	ひきこもり支援機関の取組や事例
対象者全体	87	49.4	66.7	82.8	57.5	43.7	55.2	60.9	49.4
《機関別》									
地域包括支援センター	26	38.5	76.9	88.5	50.0	73.1	50.0	76.9	69.2
障がい者相談支援事業所(委託相談)	16	62.5	50.0	87.5	56.3	62.5	68.8	50.0	50.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	34	52.9	64.7	76.5	64.7	17.6	55.9	50.0	32.4
市区社会福祉協議会	11	45.5	72.7	81.8	54.5	27.3	45.5	72.7	54.5

	支援者自身のメンタルヘルスとセルフケア	その他	無回答
対象者全体	28.7	1.1	1.1
《機関別》			
地域包括支援センター	42.3	0.0	0.0
障がい者相談支援事業所(委託相談)	6.3	6.3	0.0
指定特定相談支援事業所(委託を除く)	32.4	0.0	2.9
市区社会福祉協議会	18.2	0.0	0.0

Q12 ひきこもりに係る相談・支援に対応する際に、どのような取組があると良いと思うか

【複数回答】

	全体	身近な地域における相談体制の充実	地域における連携ネットワークづくり	効果的な普及啓発の充実	支援機関が掲載されたマップ等の作成	相談・支援機関向け研修会・事例検討会	居場所の運営	家族向けのひきこもりに関するセミナー、家族教室等	ひきこもりの家族会と連携した取組の充実
対象者全体	87	48.3	60.9	10.3	24.1	28.7	34.5	26.4	11.5
≪機関別≫									
地域包括支援センター	26	65.4	61.5	7.7	34.6	19.2	11.5	34.6	15.4
障がい者相談支援事業所（委託相談）	16	37.5	68.8	6.3	6.3	37.5	56.3	31.3	12.5
指定特定相談支援事業所（委託を除く）	34	38.2	67.6	5.9	20.6	29.4	47.1	17.6	8.8
市区社会福祉協議会	11	54.5	27.3	36.4	36.4	36.4	18.2	27.3	9.1

	当事者・家族向け講演会	中間的就労等を含めた就労支援	当事者団体・家族会との連携、当事者の声を聴く機会づくり	その他	無回答
対象者全体	6.9	10.3	8.0	6.9	0.0
≪機関別≫					
地域包括支援センター	3.8	11.5	11.5	7.7	0.0
障がい者相談支援事業所（委託相談）	6.3	12.5	6.3	12.5	0.0
指定特定相談支援事業所（委託を除く）	5.9	11.8	2.9	5.9	0.0
市区社会福祉協議会	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0

Q13 ひきこもりに係る相談・支援を行う関係機関や、ひきこもり支援に関する情報を何で知るか

【複数回答】

	全体	札幌市公 式ホーム ページ	広報さ っぽろ	チラシ・パ ンフレット	区役所な どの公共 施設や窓 口	札幌市以外 の行政機関 (国・北海道 など)のホー ムページな ど	ひきこもり支 援を行う関 係機関の ホームページ・パンフ レットなど	ひきこも り当事者 会や家族 会	医師や医 療機関
対象者全体	87	32.2	13.8	36.8	23.0	13.8	55.2	13.8	12.6
《機関別》									
地域包括支援センター	26	38.5	11.5	50.0	46.2	23.1	69.2	15.4	3.8
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	16	37.5	12.5	31.3	25.0	18.8	75.0	18.8	37.5
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	34	23.5	11.8	23.5	5.9	8.8	32.4	11.8	11.8
市区社会福祉協議会	11	36.4	27.3	54.5	18.2	0.0	63.6	9.1	0.0

	福祉・教育 などの関 係機関や 活動団体	テレビ・ラ ジオ	新聞・雑 誌	SNS	その他	覚えてい ない	無回答
対象者全体	31.0	6.9	4.6	8.0	5.7	4.6	0.0
《機関別》							
地域包括支援センター	26.9	11.5	7.7	0.0	0.0	3.8	0.0
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	37.5	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	38.2	5.9	5.9	11.8	5.9	8.8	0.0
市区社会福祉協議会	9.1	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0

Q14 「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤」について

	全体	知ってお り、読んだ ことがある	知っている が、読んだ ことはない	知らない	無回答
対象者全体	87	13.8	35.6	50.6	0.0
《機関別》					
地域包括支援センター	26	11.5	26.9	61.5	0.0
障がい者相談支援事業所 (委託相談)	16	18.8	50.0	31.3	0.0
指定特定相談支援事業所 (委託を除く)	34	14.7	32.4	52.9	0.0
市区社会福祉協議会	11	9.1	45.5	45.5	0.0

【ひきこもりに関する実態調査（関係機関向け） 調査票】

Q1 貴機関について、該当するものを選択してください。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 地域包括支援センター | 3. 指定特定相談支援事業所（委託を除く） |
| 2. 障がい者相談支援事業所（委託相談） | 4. 区社会福祉協議会 |

【「ひきこもり状態にある方」の考え方】

年齢がおおむね **15 歳から 64 歳までの方** で次のいずれかに該当する方

① **社会参加（仕事・学校・家庭以外の人との交流など）ができない状態が6ヶ月以上続いて、自宅にひきこもっている状態の方**

② 社会参加ができない状態であるが、**時々買い物や自分の趣味のために外出することもある方**

※ただし、社会参加できない状態にある理由が「重度の障害や疾病」、「妊娠・育児・家事」、「自宅で仕事をしている」場合を除きます。

※ニートなど、関係機関の皆様から見て心配な方、また、家族の方からご相談があった経験のある方については、「ひきこもり状態にある方」としてお答えください。

※詳しい状況は知らないが、もしかしたら該当するかもしれない方がいる場合にも、「いる」とお答えください。

Q2 現在、貴機関の担当する区域内に「ひきこもり状態にある方」がいますか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

Q3 貴機関は、この6か月間に「ひきこもり状態にある方」当事者の相談を受けたり、支援を行ったりしたことがありますか。概算で構いませんのでお答えください（1か月平均）。（○はひとつだけ）

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| 1. したことはない | 4. 11～20 人／月程度ある | 7. 51～80 人／月程度ある |
| 2. 1～5 人／月程度ある | 5. 21～30 人／月程度ある | 8. 80 人／月より多くある |
| 3. 6～10 人／月程度ある | 6. 31～50 人／月程度ある | 9. わからない |

Q4 貴機関は、この6か月間に「ひきこもり状態にある方」のご家族の相談を受けたり、支援を行ったりしたことがありますか。概算で構いませんのでお答えください（1か月平均）。（○はひとつだけ）

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. したことはない | 4. 11～20人／月程度ある | 7. 51～80人／月程度ある |
| 2. 1～5人／月程度ある | 5. 21～30人／月程度ある | 8. 80人／月より多くある |
| 3. 6～10人／月程度ある | 6. 31～50人／月程度ある | 9. わからない |

Q5 担当する地区にひきこもり状態にある方がいることを新たに把握することは、どの程度ありますか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほとんどない | 4. 年5～10件 | 7. その他（ ） |
| 2. 年1～2件 | 5. 月1件程度 | 8. わからない |
| 3. 年3～4件 | 6. 月2～4件 | |

Q6 貴機関の令和5年度と令和6年度を比較して、ひきこもり状態にある方がいる世帯が増えていると思いますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 増えていると思う | 3. 減っていると思う |
| 2. 変わらない（横ばい）と思う | 4. わからない |

Q7 担当する地区にひきこもり状態にある方がいることを、どのような方法で知りますか。該当するものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 支援対象者への対応時 | 7. 介護サービス事業所からの情報提供 |
| 2. 当事者や家族からの相談 | 8. 医療機関からの情報提供 |
| 3. 近隣住民からの情報提供（相談） | 9. その他（ ） |
| 4. 民生委員・児童委員からの情報提供 | 10. 把握してない |
| 5. 区役所・保健センターからの情報提供 | 11. わからない |
| 6. 教育機関（学校等）からの情報提供 | |

Q8 担当する地区にひきこもり状態にある方がいることを知ったとき、どのような対応をすることが多いですか。多いと思うものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

1. その方との関係づくりのための訪問を行う
2. 定期的な見守り・声掛けを行う
3. 家族からの相談を聞く
4. 当事者・家族に対して相談窓口や支援機関についての情報提供を行う
5. 相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う
6. 当事者・家族が相談窓口・支援機関に行く際に同行する
7. 関係機関と連携しながら、直接的な支援を行う
8. 当事者が自機関の支援対象者でなければ、特別な対応は行わない
9. 当事者・家族に相談の意思がなければ、特別の対応は行わない
10. その他 ()

Q9 ひきこもりに係る相談・支援において、連携している（連携したことがある）関係機関をすべて選んで○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. 札幌市ひきこもり地域支援センター | 11. 地域包括支援センター |
| 2. 札幌市若者支援総合センター
(さっぽろ若者サポートステーション) | 12. 障がい者相談支援事業所（委託相談） |
| 3. 札幌市自閉症・発達障がい支援センター
(おがる) | 13. 指定特定障がい者相談支援事業所
(上記 12 の委託相談以外) |
| 4. ひきこもりに関する集団型支援拠点
「よりどころ」 | 14. 札幌市社会福祉協議会 |
| 5. 札幌市精神保健福祉センター
(札幌こころのセンター) | 15. 民生委員・児童委員 |
| 6. 札幌市子どもアシストセンター | 16. 病院・診療所 |
| 7. 札幌市教育センター・教育相談室 | 17. 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェなど就労機関 |
| 8. 児童相談所などの児童福祉機関 | 18. 民間団体（支援 NPO や「フリースクール」など） |
| 9. 区役所 | 19. 上記以外の心理相談・カウンセリングなどをする民間の機関 |
| 10. 保健所・保健センター | 20. その他の施設・機関
(具体的に) |

Q10 貴機関がひきこもりに係る相談・支援を行う場合、特に課題と感じていることについて、お答えください。(〇はいくつでも)

1. ひきこもりについての知識やノウハウが足りない
2. 家族とつながっているが、ひきこもり状態の本人につなげることができない
3. 家族・本人とも、ひきこもり状態であることに困り感がない
4. 相談が継続せずに途切れてしまう
5. 本人と家族の認識にギャップがあり、家族関係の調整が難しい
6. 支援者向けの研修機会が不足している
7. どの機関と連携すればよいか、わからない
8. 行政機関との連携がない
9. 当事者会・家族会との連携がない
10. ひきこもりに対する地域や社会の理解が不足している
11. ひきこもりに関わる社会資源（就労先・協力者など）がない
12. その他（ ）

Q11 貴機関がひきこもりに係る相談・支援に対応するうえで、職員・スタッフが特に理解を深めたほうが良いと思うことを教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. ひきこもりの現状や背景 | 6. 支援における関係機関との連携の深め方 |
| 2. ひきこもり支援の制度 | 7. 利用可能な社会資源（福祉サービス等） |
| 3. ひきこもり支援の具体的なノウハウ | 8. ひきこもり支援機関の取組や事例 |
| 4. 当事者・家族心理の理解 | 9. 支援者自身のメンタルヘルスとセルフケア |
| 5. 長期・高齢ケースへの対応方法 | 10. その他（ ） |

Q12 ひきこもりに係る相談・支援に対応する際に、どのような取組があると良いと思いますか。
3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1. 身近な地域における相談体制の充実
2. 地域における連携ネットワークづくり
3. 効果的な普及啓発の充実
4. 支援機関が掲載されたマップ等の作成
5. 相談・支援機関向け研修会・事例検討会
6. 居場所の運営
7. 家族向けのひきこもりに関するセミナー、家族教室等
8. ひきこもりの家族会と連携した取組の充実
9. 当事者・家族向け講演会
10. 中間的就労等を含めた就労支援
11. 当事者団体・家族会との連携、当事者の声を聴く機会づくり
12. その他 ()

Q13 あなたは、ひきこもりに係る相談・支援を行う関係機関や、ひきこもり支援に関する情報を
何で知ることが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. 札幌市公式ホームページ | 8. 医師や医療機関 |
| 2. 広報さっぽろ | 9. 福祉・教育などの関係機関や活動団体 |
| 3. チラシ・パンフレット | 10. テレビ・ラジオ |
| 4. 区役所などの公共施設や窓口 | 11. 新聞・雑誌 |
| 5. 札幌市以外の行政機関（国・北海道など）
のホームページなど | 12. SNS |
| 6. ひきこもり支援を行う関係機関のホーム
ページ・パンフレットなど | 13. その他 () |
| 7. ひきこもり当事者会や家族会 | 14. 覚えていない |

1. 知っており、読んだことがある
2. 知っているが、読んだことはない
3. 知らない

[illegible]

162